

対象校No. 352

注4

学校コード F11310102192

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

東都大学 幕張ヒューマンケア学部 健康科学科

**【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人青淵学園  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務長 山下 泰大

電話番号 048-574-2500

(夜間)

e-mail soumu@tohto.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。
- 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
  - 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
  - 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
  - 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
  - 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
  - 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 □□研究科」
  - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 □□研究科 □□専攻(修士課程)」
  - 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
- なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。
- [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 幕張ヒューマンケア学部

＜健康科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的な事項	29

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設 置 者

学校法人 青淵学園

### (2) 大 学 名

東都大学

### (3) 調査対象大学等の位置

〒261-0021

千葉県千葉市美浜区ひび野1-1（埼玉県深谷市上柴町西4-2-11）

（〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西4-2-11）

- （注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	オオツボ オサム 大坪 修 (平成20年11月)		
学 長	ヨシオカ トシマサ 吉岡 俊正 (令和3年4月)		
学 部 長	ネモト セイジ 根本 清次 (令和4年4月)		
学科長等	ネモト セイジ 根本 清次 (令和6年4月)		

- （注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

（例）令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) • 当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。

• なお、「課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法律上規定されている最も小単位  
〔大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」〕のほか、それらのコースや専攻単位も記載したものを、  
別ファイルにて提出してください。」

・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、  
設置計画履歴状況等検査の対象期間には2年を越え、様式に変更がある場合には、別途ご連絡ください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』を在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、事務学校（専門課程）及び我が国の大学に入學するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 短期交換留学生など、定員内に収められない留学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
幕張ヒューマン学部 健康科学科 学士(健康科学)	保健衛生学関 係(看護学関 係及びリハビ リテーション 学)	4 年	18 人	2年次 0 人 3年次 4 人 4年次 0 人	80 人	—	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
「学部又は学科の分野」には、「認可申請書」「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学部又は学科の分野」と同じく記入してください。  
学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学学生募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の中学校														
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18人	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18			
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 4 )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-		
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 0 )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16			

- (注) • 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年末時点の情報として記入してください。)  
• 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
• ( )内には、編入学の状況について**外敵**で記入してください。なお、編入学を複数回次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
• 轉入生は記入しないでください。  
• [ ]内には、留學生の状況について**内敵**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
• 学期の区分に従い入学をさせる場合は、春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの家庭の場合には、その他の学期は「-」を記入してください。  
• 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。  
• なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記してください。  
• 教育年度に春学期ハセキルの子割り区分の設定を実施している場所は、「春学期ハセキル以外の子割り区分」に「春学期ハセキルの子割り区分」を選択してください。  
い。  
• (春季入学以外の学期区分の説定を含む)でない場合は、「-」を選択。 )  
• 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV.33 収容定員の充足状況」をご確認ください。  
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、  
報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記入してください。  
• 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」  
第1条第2項による修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、「1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
• 「(5) (一)②調査対象学部等の名称・定員・入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」と「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の  
備考と一緒にしますので、留空して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

[ ] 内には、留学生の状況について、内臓で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。

( ) 内には、留学生の状況について、内臓で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。

・編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・学期の区間に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分で設けている場合)に分けて数字を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。

また、その他の学期に入学登記を設けている場合は、備考欄にその他の数を記入してください。

・「封」については、各年度の春季入学とその他の学期を封じた在学登録用紙を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数	
				うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人
			令和2年度	- 人	- 人
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人
			令和2年度	- 人	- 人
			令和3年度	- 人	- 人
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人
			令和2年度	- 人	- 人
			令和3年度	- 人	- 人
			令和4年度	- 人	- 人
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人
			令和2年度	- 人	- 人
			令和3年度	- 人	- 人
			令和4年度	- 人	- 人
			令和5年度	- 人	- 人
令和6年度	22 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人
			令和2年度	- 人	- 人
			令和3年度	- 人	- 人
			令和4年度	- 人	- 人
			令和5年度	- 人	- 人
			令和6年度	- 人	- 人
合 計	/	0 人	/	0 人	0 人

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学

　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

＜幕張ヒューマンケア学部 健康科学科＞

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
ヒューマンケアの基礎科目群	大学入門講座	1前	1			1	2			5
	ヒューマンケア概論	1前	1			1				1
	心理学	1・2・3・4前		2						1
	コミュニケーション論	1・2・3・4前		2						1
	人間の生き方	1・2・3・4前		2		1				4
	倫理と医療	1・2・3・4後		2		1				1
	法律と医療	1・2・3・4後		2						1
	社会福祉論	1・2・3・4後		2						1
	カウンセリング論	1・2・3・4後		2						1
	スポーツ健康科学 I	1・2・3・4前		1						1
	スポーツ健康科学 II	1・2・3・4後		1						1
	千葉近代史と人々の暮らし	1・2・3・4前		1						1
	法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2						1
	哲学	1・2・3・4前		1		1				1
	社会学	1・2・3・4後		1						1
	医療と看護の歴史	1・2・3・4前		1		1				2
	論理学入門	1・2・3・4前		1						1
	文化とアート	1・2・3・4前		1						1
	小計(18科目)	-	2	24	0	2	1	2	0	0
ヒューマンケアの基礎科目群	数学の基礎	1・2・3・4前		1						1
	数学 I	1・2・3・4前		2						1
	数学 II	1・2・3・4後		2						1
	生物学	1・2・3・4前		1						1
	生物 I	1・2・3・4前		2						1
	生物 II	1・2・3・4後		2						1
	生命理解のための化学	1・2・3・4前		1		1				1
	化学	1・2・3・4前		1						1
	化学 I	1・2・3・4前		2						1
	化学 II	1・2・3・4後		2						1
	物理学入門	1・2・3・4前		1						2
	物理 I	1・2・3・4前		2						1
	物理 II	1・2・3・4後		2						1
	統計学入門	1・2・3・4前	1							1
	確率統計学入門	1・2・3・4前		2						1
	小計(15科目)	-	1	23	0	1	0	0	0	9
	英語 I	1・2・3・4前	1							1
	英語 II	1・2・3・4後	1							1
	英語 III	1・2・3・4前	1							1
	英語 IV	1・2・3・4後	1							1
	科学英語	1・2・3・4後	1							1
	医療英語	1・2・3・4後	1							1
	中国語	1・2・3・4前	1							1
	フランス語	1・2・3・4後	1							1
	小計(8科目)	-	1	7	0	0	0	0	0	6
	小計(41科目)	-	4	54	0	2	1	2	0	30
健康科学に必要な基礎科目群	身体の構造・機能 I	1・2・3・4前	2			1	1	2		
	身体の構造・機能 II	1・2・3・4後	2			1	1	2		
	身体の構造・機能 III	1・2・3・4後	2			1	1	2		
	病理学	1・2・3・4後	2			1	1	2		
	生化学	1・2・3・4前		2		1	1	2		
	小計(5科目)	-	6	4	0	1	1	2	0	1
	医学概論	1・2・3・4前	2							2
	感染と免疫	1・2・3・4後	2							1
	薬理学	1・2・3・4後	2							1
	臨床検査学概論	1・2・3・4後	1							1
	看護学概論	1・2・3・4前	2							1
	医療工学入門	1・2・3・4後	1							1
	保健統計	1・2・3・4後	2							1
	医療経済入門	1・2・3・4後	1							1
	医療政策論入門	1・2・3・4前	1							1
	労働衛生関係法規	1・2・3・4前	2							1
	健康障害の回復と支援	1・2・3・4後	1							1
	遺伝と健康	1・2・3・4前	1							2
	先進医療	1・2・3・4前	1							2
	細胞学	1・2・3・4前	1							1
	組織学	1・2・3・4後	1							1
	老年学	1・2・3・4後	1							4
	栄養学特論	1・2・3・4後	1							1
	医療栄養学	1・2・3・4後	1							1
	リハビリテーション概論	1・2・3・4前	1			1				1
	終末期医療論	1・2・3・4後	1							1
	医療制度と関係法規	1・2・3・4後	1							1
	公衆衛生学	1・2・3・4前	2				1			15
	小計(22科目)	-	6	23	0	1	0	1	0	15

#### 【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
ヒューマンケアの基礎科目群	大学入門講座	1前	1			1	2			5
	ヒューマンケア概論	1前	1			1				1
	心理学	1・2・3・4前		2						1
	コミュニケーション論	1・2・3・4前		2						4
	人間の生き方	1・2・3・4前		2						1
	倫理と医療	1・2・3・4後		2						1
	法律と医療	1・2・3・4後		2						1
	社会福祉論	1・2・3・4後		2						1
	カウンセリング論	1・2・3・4後		2						1
	スポーツ健康科学 I	1・2・3・4前		1						1
	スポーツ健康科学 II	1・2・3・4後		1						1
	千葉近代史と人々の暮らし	1・2・3・4前		1						1
	法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2						1
	哲学	1・2・3・4前		1		1				1
	社会学	1・2・3・4後		1						1
	医療と看護の歴史	1・2・3・4前		1		1				2
	論理学入門	1・2・3・4前		1						1
	文化とアート	1・2・3・4前		1						1
	小計(18科目)	-	2	24	0	2	1	2	0	0
ヒューマンケアの基礎科目群	数学の基礎	1・2・3・4前		1						1
	数学 I	1・2・3・4前		2						1
	数学 II	1・2・3・4後		2						1
	生物学	1・2・3・4前		1						1
	生物 I	1・2・3・4前		2						1
	生物 II	1・2・3・4後		2						1
	生命理解のための化学	1・2・3・4前		1		1				1
	化学	1・2・3・4前		1						1
	化学 I	1・2・3・4前		2						1
	化学 II	1・2・3・4後		2						1
	物理学入門	1・2・3・4前		1						2
	物理 I	1・2・3・4前		2						1
	物理 II	1・2・3・4後		2						1
	統計学入門	1・2・3・4前	1							1
	確率統計学入門	1・2・3・4前		2						1
	小計(15科目)	-	1	23	0	1	0	0	0	9
	英語 I	1・2・3・4前	1							1
	英語 II	1・2・3・4後	1							1
	英語 III	1・2・3・4前	1							1
	英語 IV	1・2・3・4後	1							1
	科学英語	1・2・3・4後	1							1
	医療英語	1・2・3・4後	1							1
	中国語	1・2・3・4前	1							1
	フランス語	1・2・3・4後	1							1
	小計(8科目)	-	1	7	0	0	0	0	0	6
	小計(41科目)	-	4	54	0	2	1	2	0	30
健康科学に必要な基礎科目群	身体の構造・機能 I	1・2・3・4前	2			1	1	2		
	身体の構造・機能 II	1・2・3・4後	2			1	1	2		
	身体の構造・機能 III	1・2・3・4後	2			1	1	2		
	病理学	1・2・3・4後	2			2				1
	生化学	1・2・3・4前		2		1	1	2		
	小計(5科目)	-	6	4	0	1	1	2	0	1
	医学概論	1・2・3・4前	2							2
	感染と免疫	1・2・3・4後	2							1
	薬理学	1・2・3・4後	2							1
	臨床検査学概論	1・2・3・4後	1							1
	看護学概論	1・2・3・4前	2							1
	医療工学入門	1・2・3・4後	1							1
	保健統計	1・2・3・4後	2							1
	医療経済入門	1・2・3・4後	1							1
	医療政策論入門	1・2・3・4前	1							1
	労働衛生関係法規	1・2・3・4前	2							1
	健康障害									

授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
情報科学概論	1・2・3・4前	2					1			3
情報機器の理解	1・2・3・4前	1							1	1
情報リテラシー	1・2・3・4前	1							1	1
パソコン基礎演習	1・2・3・4後	2							3	3
小計(4科目)	-	2	4	0	0	0	1	0	0	5
小計(31科目)	-	14	31	0	1	1	2	0	0	20
健康科学概論	1・2・3・4前	1			4					0
健康科学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2			4	1	2	1		0
健康科学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2			2		1			0
科学リテラシー	1・2・3・4前	1			2		1			0
英語表現とプレゼンテーション	1・2・3・4前	1							1	1
比較文化論	1・2・3・4後	1							1	1
小計(6科目)	-	4	4	0	4	1	2	1	0	1
健康科学キャリア入門	1・2・3・4前	1			4					
健康科学キャリア開発	1・2・3・4後	2			4	1	2	1		
健康科学研究方法	1・2・3・4後	1			4					
健康科学技術開発概論	1・2・3・4前	1			3					
健康科学技術開発演習	1・2・3・4後	2			1	1	2			
健康科学倫理	1・2・3・4前	1			1					
非営利活動概論	1・2・3・4後	1			1	1	1	2		
人的資源と組織論	1・2・3・4後	1			2					
現代情報論	1・2・3・4後	1					1	1		
審美健康科学概論	1・2・3・4後	1			1	1				
ファインシャンブルプラン概論	1・2・3・4後	1			1					
科学技術フロンティア	1・2・3・4後	1			2					
健康科学教育	1・2・3・4後	2			1	1				
小計(13科目)	-	5	11	0	4	1	2	1	0	0
基礎看護学概論	1・2・3・4前	2							3	
生活科学	1・2・3・4前	1							1	
小児看護学概論	1・2・3・4前	2							1	
成人看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
高齢者看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
リプロダクティブルース看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
公衆衛生看護学概論	1・2・3・4後	2							1	
地域包括ケア概論	1・2・3・4前	1							3	
精神看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
地城・在宅看護学概論	1・2・3・4後	1							2	
産業看護活動論	1・2・3・4前	1							1	
地域母子保健	1・2・3・4前	2							1	
救急看護	1・2・3・4前	1							2	
国際医療協力	1・2・3・4後	1							2	
理学療法概論	1・2・3・4前	1							1	
運動療法学	1・2・3・4前	1							1	
日常生活動作学	1・2・3・4後	1							1	
義肢装具学	1・2・3・4前	1							1	
物理療法学	1・2・3・4前	1							1	
運動器系理学療法学	1・2・3・4後	1							3	
神経系理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
内部障害系(循環器系)理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
内部障害系(代謝系)理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
スポーツ理学療法	1・2・3・4前	1							1	
ウィメンズヘルスケア	1・2・3・4前	1							1	
障害者スポーツ	1・2・3・4前	1							1	
小児理学療法	1・2・3・4前	1							2	
ユニバーサルデザイン・バリエフリーラン	1・2・3・4前	1							1	
産業健康増進理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
生体物性工学	1・2・3・4前	2							2	
医用機械工学	1・2・3・4後	2							1	
生体計測装置学	1・2・3・4後	2							2	
医用機器学	1・2・3・4前	2							2	
医療情報処理技術	1・2・3・4前	2							1	
医療情報システム	1・2・3・4前	2							1	
情報通信ネットワーク	1・2・3・4後	2							2	
医療用IoT概論	1・2・3・4前	2							4	
医療用IoTセキュリティ	1・2・3・4後	2							2	
医用画像診断装置学	1・2・3・4前	2							1	
体外循環療法学	1・2・3・4前	2							1	
血液浄化療法学	1・2・3・4前	2							1	
呼吸療法学	1・2・3・4前	2							1	
医用画像情報処理技術	1・2・3・4後	2							2	
人工知能(AI)	1・2・3・4後	2							1	
医用ロボティクス	1・2・3・4後	2							1	
人工臓器概論	1・2・3・4後	2							1	
小計(46科目)	-	0	67	0	0	0	0	0	0	46

健  
康  
科  
學  
に  
必  
要  
な  
專  
門  
科  
目  
群

授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
情報科学概論	1・2・3・4前	2								3
情報機器の理解	1・2・3・4前	1								1
情報リテラシー	1・2・3・4前	1								1
パソコン基礎演習	1・2・3・4後	2								3
小計(4科目)	-	2	4	0	0	0	1	0	0	5
小計(31科目)	-	14	31	0	1	1	2	0	0	20
健康科学概論	1・2・3・4前	1			4					0
健康科学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2			4	1	2	1		0
健康科学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2			2		1			0
科学リテラシー	1・2・3・4前	1			2		1			0
英語表現とプレゼンテーション	1・2・3・4前	1							1	1
比較文化論	1・2・3・4後	1							1	1
小計(6科目)	-	4	4	0	4	1	2	1	0	1
健康科学概論	1・2・3・4前	1			4					0
健康科学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2			4	1	2	1		0
健康科学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2			2		1			0
科学リテラシー	1・2・3・4前	1			1		1			0
英語表現とプレゼンテーション	1・2・3・4前	1						1		1
比較文化論	1・2・3・4後	1						1		1
小計(6科目)	-	4	4	0	4	1	2	1	0	1
健康科学概論	1・2・3・4前	1			4					0
健康科学概論	1・2・3・4後	2			4	1	2	1		0
健康科学概論	1・2・3・4後	2			2		1			0
科学リテラシー	1・2・3・4前	1			1		1			0
英語表現とプレゼンテーション	1・2・3・4前	1						1		1
比較文化論	1・2・3・4後	1						1		1
小計(6科目)	-	4	4	0	4	1	2	1	0	1
健康科学概論	1・2・3・4前	1			4					0
健康科学概論	1・2・3・4後	2			4	1	2	1		0
健康科学概論	1・2・3・4後	2			2		1			0
科学リテラシー	1・2・3・4前	1			1		1			0
英語表現とプレゼンテーション	1・2・3・4前	1						1		1
比較文化論	1・2・3・4後	1						1		1
小計(6科目)	-	4	4	0	4	1	2	1	0	1
基礎看護学概論	1・2・3・4前	2							3	
生活科学	1・2・3・4前	1							1	
小児看護学概論	1・2・3・4前	2							1	
成人看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
高齢者看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
リプロダクティブルース看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
公衆衛生看護学概論	1・2・3・4後	2							1	
地域包括ケア概論	1・2・3・4前	1							3	
精神看護学概論	1・2・3・4前	1							1	
地城・在宅看護概論	1・2・3・4後	1							2	
産業看護活動論	1・2・3・4前	1							1	
地域母子保健	1・2・3・4前	2							1	
救急看護	1・2・3・4前	1							2	
国際医療協力	1・2・3・4後	1							2	
理学療法概論	1・2・3・4前	1							1	
運動療法学	1・2・3・4前	1							1	
日常生活動作学	1・2・3・4後	1							1	
義肢装具学	1・2・3・4前	1							1	
物理療法学	1・2・3・4前	1							1	
運動器系理学療法学	1・2・3・4後	1							3	
神経系理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
内部障害系(循環器系)理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
内部障害系(代謝系)理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
スポーツ理学療法	1・2・3・4前	1							1	
ウィメンズヘルスケア	1・2・3・4前	1							1	
障害者スポーツ	1・2・3・4前	1							1	
小児理学療法	1・2・3・4前	1							2	
ユニバーサルデザイン・バリエフリーラン	1・2・3・4前	1							1	
産業健康増進理学療法学	1・2・3・4後	1							1	
生体物性工学	1・2・3・4前	2							2	
医用機械工学	1・2・3・4後	2							1	
生体計測装置学	1・2・3・4後	2							2	
医用機器学	1・2・3・4前	2							2	
医療情報処理技術	1・2・3・4前	2							2	
医療情報システム	1・2・3・4前	2			</td					

授業科目的名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
		必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 师	助 教	助 手	
健康科学ゼミ入門	1前	1			4					
健康科学ゼミⅠ	1後	1			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅡ	2通	2			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅢ	3通	2			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅣ	4通	2			4	1	2	1		
卒業研究	4通	4			4	1	2	1		
小計(6科目)	-	12	0	0	4	1	2	1	0	0
小計(71科目)	-	21	82	0	4	1	2	1	0	49
合計(143科目)	-	39	167	0	4	1	2	1	0	77
卒業要件及び履修方法										
<p>卒業年限までに以下に従って合計124単位以上修得すること。      ただし、該修科の卒業要件は、該修科の単位を合算して合計124単位とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューマンケアの基礎科目群で必修科目4単位を含み20単位以上</li> <li>・ただし、「人間と生活」は必修2単位を含み4単位以上</li> <li>「自然科学の理解」は必修1単位を含み4単位以上</li> <li>「異文化理解」は必修1単位を含み2単位以上を含むこと</li> <li>・健康科学に必要な基礎科目群で必修科目14単位を含み20単位以上</li> <li>・健康科学に必要な専門科目群で必修単位21単位を含み40単位以上</li> <li>・ただし、「健康科学の応用」は必修5単位を含み8単位以上</li> <li>「健康科学の発展」は12単位以上を含むこと</li> </ul>										

授業科目的名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
		必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 师	助 教	助 手	
健康科学ゼミ入門	1前	1			4					
健康科学ゼミⅠ	1後	1			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅡ	2通	2			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅢ	3通	2			4	1	2	1		
健康科学ゼミⅣ	4通	2			4	1	2	1		
卒業研究	4通	4			4	1	2	1		
小計(6科目)	-	12	0	0	4	1	2	1	0	0
小計(71科目)	-	21	82	0	4	1	2	1	0	49
合計(143科目)	-	39	167	0	4	1	2	1	0	77
卒業要件及び履修方法										
<p>卒業年限までに以下に従って合計124単位以上修得すること。      ただし、該修科の卒業要件は、該修科の単位を合算して合計124単位とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューマンケアの基礎科目群で必修科目4単位を含み20単位以上</li> <li>・ただし、「人間と生活」は必修2単位を含み4単位以上</li> <li>「自然科学の理解」は必修1単位を含み4単位以上</li> <li>「異文化理解」は必修1単位を含み2単位以上を含むこと</li> <li>・健康科学に必要な基礎科目群で必修科目14単位を含み20単位以上</li> <li>・健康科学に必要な専門科目群で必修単位21単位を含み40単位以上</li> <li>・ただし、「健康科学の応用」は必修5単位を含み8単位以上</li> <li>「健康科学の発展」は12単位以上を含むこと</li> </ul>										

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。

・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を

黒字で記入してください。その上で、各年度について、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。

・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、

「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。

（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・表記間違いにより、「精神看護学概論」の開講期を「前」から「後」に変更。
- ・表記間違いにより、「地域・在宅看護学概論」を「地域・在宅看護論」に変更。

- (注)
- ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開設や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	117 科目	0 科目	143 科目	26 科目	117 科目	0 科目	14 科目	[ 0 ] [ 0 ] [ 0 ] [ 0 ]

- (注) · 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）  
 · 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。  
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。  
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。  
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。  
 ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{143} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内 容						備考	
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		幕張ヒューマンケア学部に新たに蘇我教育センターを開設したため、校舎敷地1999.85m <sup>2</sup> 増加。（6）		
	校舎敷地	31,903.89m <sup>2</sup> 29,904.04m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	31,903.89m <sup>2</sup> 29,904.04m <sup>2</sup>				
	運動場用地	20,822.43m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	20,822.43m <sup>2</sup>				
	小計	52,726.32m <sup>2</sup> 50,726.47m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	52,726.32m <sup>2</sup> 50,726.47m <sup>2</sup>				
	その他	8,769.12m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	8,769.12m <sup>2</sup>				
	合計	61,495.44m <sup>2</sup> 59,495.49m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	61,495.44m <sup>2</sup> 59,495.49m <sup>2</sup>				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		幕張ヒューマンケア学部に新たに蘇我教育センターを開設したため、校舎3972.31m <sup>2</sup> 増加。（6）			
	43,712.95m <sup>2</sup> 39,740.64m <sup>2</sup> (39,740.64m <sup>2</sup> )	0m <sup>2</sup> (0m <sup>2</sup> )	0m <sup>2</sup> (0m <sup>2</sup> )	43,712.95m <sup>2</sup> 39,740.64m <sup>2</sup> (39,740.64m <sup>2</sup> )					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	幕張ヒューマンケア学部に新たに蘇我教育センターを開設したため、講義室8室増加。（6）			
	56室 48室	13室	27室	7室 (補助職員一人)	1室 (補助職員一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	幕張ヒューマンケア学部 健康科学科			7 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 冊 〔うち外国書〕	学術雑誌 種 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点 〔うち外国書〕	機械・器具 点 〔うち外国書〕	標本 点 〔うち外国書〕		
	幕張ヒューマンケア学部 健康科学科	22,606 [827] (22,606 [827])	48 [10] (48 [10])	5 [5] (5 [5])	365 (365)	4,093 (4,093)	80 (80)		
	計	22,606 [827] (22,606 [827])	48 [10] (48 [10])	5 [5] (5 [5])	365 (365)	4093 (4,093)	80 (80)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	1,510.20m <sup>2</sup>		241		123,420				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,371.35		体育室		115.66				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	教員1人当り研究費等	369千円	369千円	図書購入費	400千円	400千円	400千円		
	共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円		
	学生1人当たり 納付金	1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,000千円	1,000千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注)
  - ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。）
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東都大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
幕張ヒューマンケア学部	年 4	人 258	年次 -	人 1040	-	倍 0.82	倍 -	年度 平成30	年度 -					
<u>健康科学科</u>	4	18	3年次 4	80	学士 (健康科学)	<b>0.55</b>	-	-	令和6	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1				
<u>臨床工学科</u>	4	40	-	160	学士 (臨床工学)	<b>0.40</b>	-	-	令和3	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1				
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	0.84	-	-	令和元	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3				
看護学科	4	120	-	480	学士 (看護学)	0.97	-	-	平成30	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1				
ヒューマンケア学部	4	100	-	400	-	0.93	-	-	平成21	-				
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	0.93	-	-	平成21	埼玉県深谷市上柴町西4-2-11				
管理栄養学部	4	60	-	240	-	0.44	-	-	平成30	-				
管理栄養学科	4	60	-	240	学士 (栄養学)	<b>0.44</b>	-	-	平成30	埼玉県深谷市上柴町西4-2-11	令和6年度より入学定員減（80名→60名）			
沼津ヒューマンケア学部	4	100	-	400	-	0.72	-	-	令和4	令和元	-			
<u>看護学科</u>	4	100	-	400	学士 (看護学)	0.72	-	-	令和3	-	静岡県沼津市日の出町1-1			
大学全体	4	518	3年次 4	2080	-	0.79	-	-	平成21	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A-Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教員組織の状況

<幕張ヒューマンケア学部 健康科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 保有学位等
		担当授業科目名

兼任	学長	吉岡 復正 (69) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論

専 教 授		根本 清次 (69) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 生命理解のための化学 化学 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 審美健康科学概論 健康科学ゼミ入門 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		石黒 友康 (68) <令和6年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション概論 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学演習 II 科学リテラシー 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 人的資源と組織論 科学技術フロンティア 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		横地 正裕 (67) <令和6年4月> 博士(健康科学)
		運動療法学 日常生活動作学 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学演習 II 科学リテラシー 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 人的資源と組織論 科学技術フロンティア 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		望月 由紀 (53) <令和6年4月> 博士(学術)
		人間の生き方 倫理と医療 哲学 医療と看護の歴史 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学倫理 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		木下 博志 (41) <令和8年4月> 修士(看護学)
		大学入門講座 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ開発 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 健康科学教育 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

【令和6年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 保有学位等
		担当授業科目名

専 教 授	学長	吉岡 復正 (69) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ開発 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV

専 教 授		根本 清次 (69) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 生命理解のための化学 化学 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 審美健康科学概論 健康科学ゼミ入門 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		石黒 友康 (68) <令和6年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション概論 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学演習 II 科学リテラシー 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 人的資源と組織論 科学技術フロンティア 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		横地 正裕 (67) <令和6年4月> 博士(健康科学)
		運動療法学 日常生活動作学 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学演習 II 科学リテラシー 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学技術開発概論 人的資源と組織論 科学技術フロンティア 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		望月 由紀 (53) <令和6年4月> 博士(学術)
		人間の生き方 倫理と医療 哲学 医療と看護の歴史 健康科学概論 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ入門 健康科学キヤリヤ開発 健康科学研究方法 健康科学倫理 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専 教 授		木下 博志 (41) <令和8年4月> 修士(看護学)
		大学入門講座 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学演習 I 健康科学キヤリヤ開発 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 健康科学教育 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 兼任	講師	木下 博志 (41) <令和6年4月> 修士(看護学)
		大学入門講座 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学演習 I 健康科学キャリア開発 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II
専 兼任	講師	嶋津 佑亮 (34) <令和7年 4月> 修士(看護学)
		大学入門講座 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 健康科学演習 I 健康科学キャリア開発 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 健康科学教育 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究
専 兼任	講師	清川 拓馬 (33) <令和6年 4月> 修士(看護学)
		大学入門講座 身体の構造・機能 I 身体の構造・機能 II 身体の構造・機能 III 生化学 保健統計 公衆衛生学 情報機器の理解 健康科学演習 I 健康科学キャリア開発 健康科学技術開発演習 非常勤活動論 現代情報論 審美健康科学概論 ファインシヤルプラン概論 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究
専 兼任	助教	井本 紗織 (37) <令和6年4月> 修士(文学)
		健康科学演習 I 健康科学演習 II 科学リテラシー 健康科学キャリア開発 現代情報論 健康科学ゼミ I 健康科学ゼミ II 健康科学ゼミ III 健康科学ゼミ IV 卒業研究
兼 兼任	教授	勝部 憲一 (63) <令和6年4月> 博士(医学)
		フランス語 病理学 感染と免疫 遺伝と健康 先進医療 国際医療協力
兼 兼任	教授	岡本 佐智子 (58) <令和6年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)
		ヒューマンケア概論 看護学概論 成人看護学概論
兼 兼任	教授	内宮 律代 (53) <令和6年4月> 博士(学術)
		リプロダクティブヘルス看護学 概論 地域母子保健
兼 兼任	教授	水野 智子 (59) <令和6年4月> 修士(看護学)
		医療と看護の歴史 基礎看護学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上野 里絵 (50) <令和6年4月> 博士(保健学)
		精神看護学概論 救急看護
兼任	教授	廣田 幸子 (58) <令和6年4月> 博士(看護学)
		公衆衛生看護学概論 地域包括ケア概論 産業看護活動論
兼任	教授	堀之内 若名 (56) <令和6年4月> 修士(看護学)
		高齢者看護学概論 地域包括ケア概論
兼任	教授	光樂 香織 <令和6年4月> (60) 修士(児童学)
		小児看護学概論
兼任	教授	高杉 潤 (53) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 理学療法概論 神経系理学療法学
兼任	教授	舟橋 久幸 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		生物学 生物 I 生物 II 細胞学 組織学
兼任	教授	宇都宮 雅博 (57) <令和6年4月> 博士(学術)
		物理療法学 <b>健</b> 康障害の回復と <b>支</b> 援 <b>運動</b> 療法学
兼任	教授	河辺 信秀 (52) <令和6年4月> 博士(教育学)
		義肢装具学
兼任	教授	堀内 孝 (71) <令和3年4月> 博士(工学)
		化学 I 化学 II 科学英語 生体物性工学 人工臓器概論
兼任	教授	八木 一夫 (74) <令和3年4月> 博士(工学)
		物理 I 物理 II 医用機器工学 生体計測装置学 医用機器学
兼任	教授	渋谷 泰史 (64) <令和3年4月> 修士(心身健康科学)
		ヒューマンケア概論 人間の生き方 医学概論
兼任	教授	大坪 茂 (53) <令和3年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 医学概論 先進医療 血液浄化療法学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	廣田 幸子 (58) <令和6年4月> 博士(看護学)
		公衆衛生看護学概論 地域包括ケア概論 産業看護活動論
兼任	教授	堀之内 若名 (56) <令和6年4月> 修士(看護学)
		高齢者看護学概論 地域包括ケア概論
兼任	教授	光樂 香織 <令和6年4月> (60) 修士(児童学)
		小児看護学概論
兼任	教授	高杉 潤 (53) <令和6年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 理学療法概論 神経系理学療法学
兼任	教授	舟橋 久幸 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		生物学 生物 I 生物 II 細胞学 組織学
兼任	教授	宇都宮 雅博 (57) <令和6年4月> 博士(学術)
		物理療法学 <b>健</b> 康障害の <b>回復</b> と <b>支</b> 援 <b>運動</b> 療法学
兼任	教授	河辺 信秀 (52) <令和6年4月> 博士(教育学)
		義肢装具学
兼任	教授	堀内 孝 (71) <令和3年4月> 博士(工学)
		化学 I 化学 II 科学英語 生体物性工学 人工臓器概論
兼任	教授	八木 一夫 (74) <令和3年4月> 博士(工学)
		物理 I 物理 II 医用機器工学 生体計測装置学 医用機器学
兼任	教授	渋谷 泰史 (64) <令和3年4月> 修士(心身健康科学)
		ヒューマンケア概論 人間の生き方 医学概論
兼任	教授	大坪 茂 (53) <令和3年4月> 博士(医学)
		ヒューマンケア概論 医学概論 先進医療 血液浄化療法学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山下 和彦 (51) <令和6年4月> 博士(工学)
兼任	教授	情報科学概論 生体計測装置学 医療情報処理技術 医療情報システム 情報通信ネットワーク 医療用IoT概論 医療用IoTセキュリティ
兼任	准教授	須釜 真由美 (59) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		千葉近代史と人々の暮らし 基礎看護学概論
兼任	准教授	永田 葉希子 (50) <令和6年4月> 修士(看護学)
		医療と看護の歴史 終末期医療論 基礎看護学概論 生活科学
兼任	准教授	増溝 昌江 (67) <令和6年4月> 修士(看護学)
		地域包括ケア概論 地域・在宅看護学概論
兼任	准教授	河江 敏広 (46) <令和6年4月> 博士(健康スポーツ医学科)
		内部障害系(代謝系)理学療法学
兼任	准教授	中村 晴美 (49) <令和6年4月> 博士(保健医療科学)
		統計学入門 保健統計 <b>運動器系理学療法学</b>
兼任	准教授	山田 圭介 (38) <令和6年4月> 博士(心理学)
		心理学 人間の生き方 カウンセリング論
兼任	准教授	金子 和 (63) <令和3年4月> 博士(工学)
		数学の基礎 数学 I 数学 II
兼任	准教授	澤口 淳 (51) <令和3年4月> 博士(医療科学)
		人間の生き方 物理学入門 医療工学入門 体外循環療法学
兼任	講師	井波 千穂子 (56) <令和6年4月> 助産修士(専門職)
		国際医療協力
兼任	講師	前川 一恵 (55) <令和6年4月> 修士(看護学)
		地域・在宅看護学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	遠藤 悠介 (33) <令和6年4月> 博士(保健医療科学)
		運動療法学
兼任	講師	小泉 圭介 (53) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		スポーツ理学療法
兼任	講師	金内 则子 (54) <令和6年4月> 修士(カウンセリング)
		栄養学特論 医療栄養学
兼任	講師	作山 晃裕 (36) <令和6年4月> 博士(医学)
		内部障害系(循環器系)理学療法学
兼任	講師	有吉 洗希 (37) <令和4年4月> 博士(医学)
		医用機器学
兼任	助教	松戸 麻華 (35) <令和6年4月> 博士(看護学)
		救急看護
兼任	助教	肥田 泰幸 (60) <令和3年4月> 専門学校卒
		人間の生き方 医療用IoTセキュリティ 呼吸療法学
兼任	助教	山田 寛 (66) <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学入門 情報科学概論 情報機器の理解 情報通信ネットワーク
兼任	助教	野口 展士 (37) <令和6年4月> 博士(工学)
		パソコン基礎演習 医用画像情報処理技術
兼任	助教	土井根 礼音 (35) <令和6年4月> 博士(工学)
		パソコン基礎演習 医用IoT概論 医用画像情報処理技術
兼任	助教	山下 知子 (30) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報科学概論 情報リテラシー パソコン基礎演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	遠藤 悠介 (33) <令和6年4月> 博士(保健医療科学)
		鍼灸器具学
兼任	講師	小泉 圭介 (53) <令和6年4月> 博士(スポーツ科学)
		スポーツ理学療法 <b>運動器系理学療法学</b>
兼任	講師	金内 则子 (54) <令和6年4月> 修士(カウンセリング)
		栄養学特論 医療栄養学
兼任	講師	作山 晃裕 (36) <令和6年4月> 博士(医学)
		内部障害系(循環器系)理学療法学
兼任	講師	有吉 洗希 (37) <令和4年4月> 博士(医学)
		医用機器学
兼任	助教	松戸 麻華 (35) <令和6年4月> 博士(看護学)
		救急看護
兼任	助教	<b>鬼塚 勝哉 (35) &lt;令和6年4月&gt;</b> 修士(リハビリテーション学)
		<b>運動器系理学療法学</b>
兼任	助教	肥田 泰幸 (60) <令和3年4月> 専門学校卒
		人間の生き方 医療用IoTセキュリティ 呼吸療法学
兼任	助教	山田 寛 (66) <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学入門 情報科学概論 情報機器の理解 情報通信ネットワーク
兼任	助教	野口 展士 (37) <令和6年4月> 博士(工学)
		パソコン基礎演習 医用画像情報処理技術
兼任	助教	土井根 礼音 (35) <令和6年4月> 博士(工学)
		パソコン基礎演習 医用IoT概論 医用画像情報処理技術
兼任	助教	山下 知子 (30) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報科学概論 情報リテラシー パソコン基礎演習

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 香理 (36) <令和6年4月> 博士(社会学)
		コミュニケーション論
兼任	講師	十時 麻衣子 (40) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		法律と医療
兼任	講師	大森 正博 (58) <令和6年4月> 博士(経済学)
		社会福祉論 確率統計学入門
兼任	講師	丸山 麻子 (45) <令和6年4月> 博士(医学)
		スポーツ健康科学 I スポーツ健康科学 II
兼任	講師	中井 良太 (41) <令和6年4月> 博士(法学)
		法学(日本国憲法を含む) 社会学
兼任	講師	横野 沙央理 (38) <令和6年4月> 博士(文学)
		論理学入門
兼任	講師	塙田 尚三 (52) <令和6年4月> 修士(美術)
		文化とアート
兼任	講師	南澤 磨優覽 (62) <令和6年4月> 博士(工学)
		生命理解のための化学 化学
兼任	講師	平井 祥枝 (69) <令和6年4月> 学士(英文学)
		英語 I 英語 II 英語 III
兼任	講師	ジョンソン 智子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)
		英語 IV
兼任	講師	浅井 みどり (56) <令和6年4月> 修士(英米文学)
		医療英語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 香理 (36) <令和6年4月> 博士(社会学)
		コミュニケーション論
兼任	講師	十時 麻衣子 (40) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		法律と医療
兼任	講師	大森 正博 (58) <令和6年4月> 博士(経済学)
		社会福祉論 確率統計学入門
兼任	講師	丸山 麻子 (45) <令和6年4月> 博士(医学)
		スポーツ健康科学 II
		兼務弘美 (36) <令和6年4月> 学士(スポーツ健康科学)
		スポーツ健康科学 I
兼任	講師	竹花有紀 (67) <令和6年4月> 博士(医学)
		スポーツ健康科学 I
兼任	講師	中井 良太 (41) <令和6年4月> 博士(法学)
		法学(日本国憲法を含む) 社会学
兼任	講師	横野 沙央理 (38) <令和6年4月> 博士(文学)
		論理学入門
兼任	講師	塙田 尚三 (52) <令和6年4月> 修士(美術)
		文化とアート
兼任	講師	南澤 磨優覽 (62) <令和6年4月> 博士(工学)
		生命理解のための化学 化学
兼任	講師	平井 祥枝 (69) <令和6年4月> 学士(英文学)
		英語 I 英語 II 英語 III
兼任	講師	ジョンソン 智子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)
		英語 IV
兼任	講師	浅井 みどり (56) <令和6年4月> 修士(英米文学)
		医療英語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	王 萍 (61) <令和6年4月> 文学修士学位(中国)
		中国語
兼任	講師	関 健二郎 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	佐々木 章 (61) <令和6年4月> 専門学校卒
		臨床検査学概論
兼任	講師	松本 邦愛 (57) <令和6年4月> 博士(医学)
		医療経済入門
兼任	講師	藤谷 克己 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		医療政策論入門
兼任	講師	島津 実伸 (42) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		労働衛生関係法規
兼任	講師	小川 明宏 (46) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション学)
		老年学
兼任	講師	寺山 圭一郎 (50) <令和6年4月> 博士(老年学)
		老年学
兼任	講師	秋葉 崇 (37) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション学)
		老年学
兼任	講師	治田 寛之 (41) <令和6年4月> 専門学校卒
		老年学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	王 萍 (61) <令和6年4月> 文学修士学位(中国)
		中国語
兼任	講師	相澤 政明 (66) <令和6年4月>
		薬理学
兼任	講師	田村 和広 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	吉江 幸治 (46) <令和6年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	草間 和哉 (38) <令和6年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	佐々木 章 (61) <令和6年4月> 専門学校卒
		臨床検査学概論
兼任	講師	松本 邦愛 (57) <令和6年4月> 博士(医学)
		医療経済入門
兼任	講師	
兼任	講師	
兼任	講師	島津 実伸 (42) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		労働衛生関係法規 <b>医療政策論入門</b>
兼任	講師	寺山 圭一郎 (50) <令和6年4月> 博士(老年学)
		老年学
兼任	講師	秋葉 崇 (37) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション学)
		老年学
兼任	講師	治田 寛之 (41) <令和6年4月> 専門学校卒
		老年学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <年齢> <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <年齢> <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田中 康之 (62) <令和6年4月> 修士(学術)	兼任	講師	田中 康之 (62) <令和6年4月> 修士(学術)
		医療制度と関係法規			医療制度と関係法規
兼任	講師	浅岡 健志朗 (33) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下莊一朗 (28) <令和6年4月> 修士(文学)
		英語表現とプレゼンテーション			英語表現とプレゼンテーション
兼任	講師	櫻庭 太一 (48) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	櫻庭 太一 (48) <令和6年4月> 博士(文学)
		比較文化論			比較文化論
兼任	講師	山内 弘喜 (42) <令和6年4月> 博士(医療工学)			
		運動器系理学療法学			
兼任	講師	松澤 啓之 (43) <令和6年4月> 準学士(理学療法学)			
		運動器系理学療法学			
兼任	講師	村山 智司 (51) <令和6年4月> 博士(医学)			
		運動器系理学療法学			
兼任	講師	布施 陽子 (41) <令和6年4月> 修士(保健医療学)	兼任	講師	布施 陽子 (41) <令和6年4月> 修士(保健医療学)
		ウイメンズヘルスケア			ウイメンズヘルスケア
兼任	講師	田川 豪太 (66) <令和6年4月> 学士(体育学)	兼任	講師	田川 豪太 (66) <令和6年4月> 学士(体育学)
		障害者スポーツ			障害者スポーツ
兼任	講師	大矢 祥平 (38) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション)	兼任	講師	大矢 祥平 (39) <令和6年4月> 修士(リハビリテーション)
		小児理学療法学			小児理学療法学
			兼任	講師	千葉 彰加 (27) <令和5年4月> 学士(理学療法学)
					小児理学療法学
兼任	講師	太田 直樹 (37) <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	太田 直樹 (37) <令和6年4月> 専門学校卒
		ユニバーサル・バリアフリー論			ユニバーサル・バリアフリー論
兼任	講師	川又 華代 (44) <令和6年4月> 修士(スポーツ健康科学)	兼任	講師	川村 有希子 (40) <令和6年4月> 修士(体育学)
		産業健康増進理学療法学			産業健康増進理学療法学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	太田 祐治 (63) <令和6年4月> 博士(工学)
		生体物性工学
兼任	講師	土肥 健純 (78) <令和6年4月> 工学博士
		医療用IoT概論 医用ロボティクス
兼任	講師	桑名 健太 (44) <令和6年4月> 博士(工学)
		医療用IoT概論
兼任	講師	山内 康司 (59) <令和6年4月> 博士(工学)
		医用画像診断装置学
兼任	講師	富井 直輝 (42) <令和6年4月> 博士(工学)
		人工知能(AI)
		加藤 静子 (25) <令和6年4月> 修士(人文科学)
		人間の生き方
		麻植東 (40) <令和3年4月> 博士(医学)
		病理学

- (注) • 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 • 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 • 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。  
 • 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から重要な変更となる場合は本学の系学としてください。**  
 • 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。  
 • 専任(専門職大学等は専、実習、実研)、兼担、兼任の順に記入してください。  
 • 不要な年数(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。  
 • 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月吉岡俊正教授就任。
- ・令和6年4月廣瀬永子助教就任。
- ・「ヒューマンケア概論」に勝部憲一教授を追加
- ・「義肢装具学」河辺信秀教授から遠藤悠介講師に変更
- ・「基礎看護学概論」永田亜希子准教授が辞退
- ・「地域包括ケア概論」「地域・在宅看護概論」増満昌江准教授退任のため川野英子准教授が追加
- ・「健康障害の回復と支援」中村睦美准教授から宇都宮雅博教授に変更
- ・「人間の生き方」山田圭介准教授より加藤碧子講師に変更
- ・「地域・在宅看護概論」前川一恵講師退任のため辞退
- ・「運動療法学」遠藤悠介講師より宇都宮雅博教授に変更
- ・「スポーツ健康科学I」丸山麻子講師より兼巻弘美講師と竹花有紀講師に変更
- ・「老年学」小川明宏講師より寺本博講師に変更
- ・「医療政策論入門」藤谷克己講師より島津実伸講師に変更
- ・「薬理学」関健二郎講師より相澤政明講師、田村和広講師、吉江幹浩講師、草間和哉講師に変更
- ・「英語表現とプレゼンテーション」浅岡健志朗講師より木下莊一朗講師に変更
- ・「運動器系理学療法学」山内弘喜講師、松澤啓之講師、村山尊司講師より中村睦美准教授、小泉圭介准教授、鬼塚勝哉助教に変更
- ・「小児理学療法学」北村千里講師より、千葉彩加講師、手塚洋祐講師に変更
- ・「産業健康増進理学療法学」川又華代講師より、川村有希子講師に変更
- ・「リプロダクティフルス看護学概論」「地域母子保健」福島富士子教授を追加
- ・「病理学」勝部憲一教授より、康徳東講師に変更
- ・「人工知能（AI）」富井直輝講師より、瀬野宏講師に変更
- ・「精神看護学概論」上野里絵教授退任により、野田義和准教授に変更

(注) 

- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**  
・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の 必要教授数
7 名	4 名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助 手 (B')
4 (4)	1 (0)	2 (1)	1 (2)	8 (7)	0 0	4	0	1	2	7	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助 手 (D')
4 [ 0 ]	1 [ 0 ]	2 [ 0 ]	2 [ 1 ]	9 [ 1 ]	0 [ 0 ]	4 [ 0 ]	1 [ 0 ]	2 [ 0 ]	2 [ 1 ]	9 [ 1 ]	0 [ 0 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時の）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時の）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合、「現在（報告時の）の状況」に記入した数字に、  
 教員調査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、  
 「現在（報告時の）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時の）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年にに関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = \boxed{112.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{7} = \boxed{42.85} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	石黒 友康	R6. 3	必修	リハビリテーション概論	①	R6. 3一身上の都合のため就任辞退（6）			
				必修	健康科学概論	①				
				必修	健康科学演習 I	①				
				選択	健康科学演習 II	①				
				必修	科学リテラシー	①				
				必修	健康科学キャリア入門	①				
				必修	健康科学キャリア開発	①				
				必修	健康科学研究方法	①				
				選択	健康科学技術開発概論	①				
				選択	人的資源と組織論	①				
				選択	科学技術フロンティア	①				
				必修	健康科学ゼミ入門	①				
				必修	健康科学ゼミ I	①				
				必修	健康科学ゼミ II	①				
				必修	健康科学ゼミ III	①				
				必修	健康科学ゼミ IV	①				
				必修	卒業研究	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)				
1 人		必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目			
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目			
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目			

- (注) ・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定しながら、実際には就任しなかった教員のことです。
- 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
  - ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
  - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) • 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**、記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3)-①・(3)-② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1 人	必修 13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
	選択 4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
	自由 0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
	計 17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{8} = 12.5\%$$

- (注) • 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) • (3)-①、(3)-②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 • **令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。**

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の就任辞退については大学としては遺憾であるが、教員の申し出を認めざるを得ない状況であると認識している。大学としては、就任辞退した専任教員の担当講義については、専任教員の補充を速やかに行い、講義の開講については問題がないと考えている。学生への周知については、シラバスやガイダンス等で周知をするとともに、初回授業時に説明を行っている。講義の開講については、専任教員で補充を進めているため、特段の問題は生じていない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)	収容定員充足率が0.34倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。 (幕張ヒューマンケア学部臨床工学科)	<p>【A C】指摘事項 (是正)</p> <p>まず、原因分析について、18歳人口の減少に加え、開設の翌年度に近隣に定員70名の臨床工学科（順天堂大学）が開設されたこと、また、臨床工学技士の社会的な職業認知度が想定より低いことが大きな要因であると考えている。また、2023年度臨床工学技士国家試験受験者数は、2630人と他国家資格受験者に比べて極めて少ないことからも全国的に志願者獲得に苦戦していることがうかがえる。</p> <p>前述のように厳しい状況ではあるものの、臨床工学技士は従来の多種多様な医療機器の管理のみならず、近年の医療技術の高度化により、医療機器もAI・IoT技術による情報化が進み、医療行為も出来るようになるなど臨床工学技士の果たすべき社会的役割は拡大、専門化しており、本学としてもそのニーズに対応する必要があると感じている。（6）</p>	<p>左記の分析の元で、本学の強みや特色的ブランディングの構築が急務と考え、従来の臨床工学技士の担ってきた医療治療機器操作・安全管理と医療情報技師の担ってきた医療情報関連業務を学べる学科として、本学ならではの個性の発信に注力している。高校生はもとより進路指導の高校教員に対し、当該学科の教員が高校訪問や出前講義を通して、学科の情報発信に加え臨床工学技士の啓蒙活動を粘り強く実施し、学生確保に努めていく。</p> <p>また、本学科を選んでもらうべく、教育実績の向上にも努めており、2022・2023年度に受験した医療情報技師では各年度1名ずつの合格者を、2023年度に受験したME2種技能検定試験では3年次全員が合格をしており、完成年度を迎える本年度に国家試験の合格率で結果を残せるよう準備を進めている。</p> <p>粘り強く広報活動は続けていくが、全国的な18歳人口の減少の中、これまでの入学実績、今後の国家試験の合格率を踏まえながら、適正な入学定員の見直しを含めた今後の学科の方針を検討していく。（6）</p>

設置計画履行状況 調査時 (令和5年)	多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編制のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。(沼津ヒューマンケア学部看護学科)	就任辞退については、学部開設(実際の就任)まで1年以上の期間があったために、その間に家庭の事情の変化等により就任を固辞されたためであった。学部開設後の6名の辞任についても、(1)高齢教員の健康状態の予想外の悪化、(2)配偶者の死、(3)家族の介護度の増加、(4)本学就任前の元の職場からのやむを得ない事情による帰還要請が大半であり、1件だけは(5)人間関係によるストレスが主たる原因であると考えられた。(1)から(4)までは、予期できない理由であるが、(5)については、対応可能であると考える。なお、採用に当たっては、その後に継続的に本学での就業を期待し、それに応えられる業績や経験等を面接も含めて確認していたが、予期せぬ事態による辞任であった。予期しない事由について、事前の改善策は難しいが、左記(3)のような未だに女性教員に降りかかることの多い困難については、担当業務の調整などの配慮を行っている。しかし、看護師養成機関であるという性質上、臨地実習期間については限界がある。一方、(5)については、風通しのよい講座・領域運営に向けた助言、必要なサポートを大学として積極的に行うとともに、例えば「ハラスメント」と位置づけられるような問題については、学内組織と規定を整備して、早期の対応ができるようにしている。本件もそのようなサポートにより、問題発生から約1年間は当事者も対処可能であったが、少しずつ蓄積したストレスにより辞任を決意したものと評価している。(6)	【A C】指摘事項 (改善)	履行中	<安定した教員組織作りのための対応> 小さな学部であるために教員体制の余裕は少なく、それに伴う業務負担の増加が、個々の教員の家庭の事情への適応性やストレスへの対処能力などの低下の原因になり得ると考えている。そのために、辞任により欠員が生じた際は速やかに欠員を補充するとともに、当初計画の教員配置数を上回る教員の補充を徐々に行って来ている。また、ハラスメントにつながりうる人間関係の問題については、全員参加の定期的な研修会を行うとともに、問題の早期発見に務めている。これらの対策により、より安定した教員組織の編成を目指している。(6)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

#### 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

#### 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

#### 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<幕張ヒューマンケア学部 健康科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）  
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況
平成30年より東都大学FD委員会（幕張ヒューマンケア学部）を設置。
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
教員7名、職員2名により、原則月1回、計10回の委員会を開催した。
c 委員会の審議事項等
・ 2022年度活動報告、2023年度活動計画について
・ 授業評価アンケートの実施について
・ FD研修、授業相互参観の実施について
② 実施状況
a 実施内容
・ 教員相互の授業参観
・ 第1回FD研修会（全学）、第2回FD研修会（幕張）
b 実施方法
・ 事前申し込みによる実施（授業参観）
・ 対面およびオンデマンド講演、グループワーク（FD研修）
c 開催状況（教員の参加状況含む）
・ 看護学科21件、理学療法学科14件、臨床工学科10件の相互授業参観が実施された。
・ 第1回「多肢選択問題の作成について（グループワーク）」 幕張キャンパスについては、36名（対面参加21名）の教員が参加した。
・ 第2回 テーマ「学生支援—学修困難の背景に気づく」（外部講師 山中多民子） 対面参加29名、オンライン視聴29名の計58名の教員が参加した。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
アンケート結果や質問事項等への回答をフィードバックし、授業改善に活用している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期  
各授業科目の最終回に学生による授業評価アンケートを実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等  
授業評価アンケート結果は図書館に備え付けて学生に公開。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### （3）教育課程連携協議会に関する事項

\*専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### （4）自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学自己点検評価委員会において、幕張ヒューマンケア学部健康科学科の設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を実施する予定である。今後、設置計画通り履行できるよう注視していく。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・令和7年2月 公表予定（令和5年度自己点検評価書）

##### b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開するとともに、学生閲覧用として図書館に備えつけている。

#### ③ 認証評価を受ける計画

令和4年10月に評価機関（日本高等教育評価機構）の機関別認証評価を受審し、適合の認定を受けた。  
次回は6年後の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## (5) 情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [ 有 · 無 ]

« a で「有」の場合»

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2~3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 · その他 ( ) ]

« a で公表「無」の場合»

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。